

## 2022 年度入試 一般選抜 民事法系出題趣旨

### I

(1) 公道に至るための他の土地の通行権と通行地役権について、前者が一定の要件の充足により法律上当然に発生する権利であるのに対して、後者は当事者の行為によって設定される権利である等の相違点を挙げつつ、それぞれの特徴を的確に叙述できているかをみる問題である。

(2) 15 歳未満の者を養子とする普通養子縁組と特別養子縁組について、それぞれの成立・有効性にとって家庭裁判所の関与が有する意味がどのように異なるか等にふれつつ、それぞれの特徴を的確に叙述できているかをみる問題である。

### II

請負人が品質に関して契約の内容に適合しない仕事の目的物を注文者に引き渡した場合において、注文者にはどのような救済手段があるか、また、注文者による各救済手段の主張と、請負人による報酬残額の請求とがどのような関係に立つのかについて、規範を正確に理解しているか、およびそれを事案に適切にあてはめることができているかを問う問題である。

III 当該事項の理解度について見る。

IV 会社分割に際しての残存債権者保護がどのように図られているかについての理解を見る。

V 会社分割における人的分割についての理解を見る。